

## 第12回 原子力委員会臨時会議 議事録

<日時> 1992年3月6日(金) 10:30から

<場所> 原子力委員会会議室

<議題>

- (1) 動力炉・核燃料開発事業団ウラン濃縮原型プラント核燃料物質の加工の事業変更について(答申)
- (2) 三菱原子力燃料(株)東海製作所における核燃料物質の加工の事業変更許可について(諮問)
- (3) 原子燃料工業(株)熊取製造所における核燃料物質の加工の事業変更許可について(諮問)
- (4) その他

<審議事項>

- (1) 議事録の確認  
事務局作成の第11回原子力委員会定例会議議事録(案)が了承された。
- (2) 動燃・核燃料開発事業団ウラン濃縮原型プラント核燃料物質の加工の事業の変更の許可に付いて(答申)  
平成4年1月10日付け3安(核規)第847号をもって諮問のあった標記の件に関する核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第16条第3項において準用する同法第14条第1項第1号及び第2号(経理的基礎に係る部分に限る。)に規定する基準の適用については妥当なものと認め、内閣総理大臣あて答申することを決定した。  
注) 本件は、廃品シリンダの最大貯蔵能力の増加を図るため、第3貯蔵庫を新設し、ウラン濃縮加工工程で発生する劣化ウランの有効利用を目的として、劣化ウランを出荷用の廃品シリンダへ詰め替える工程、均質処理及び濃縮度測定工程を追加すること等を行うものである。
- (3) 三菱原子燃料(株)東海製作所における核燃料物質の加工の事業の変更許可について(諮問)  
平成4年2月25日3安(核規)第895号をもって内閣総理大臣から諮問を受けた標記の件について、科学技術庁から資料3に基づき

説明がなされ、引き続き審議することとした。

注) 本件は、設備、工程等の合理化を図るため、第1核燃料倉庫の貯蔵設備の一部の撤去及びウラン回収設備の設置、燃料棒溶接室の貯蔵設備の撤去、第2核燃料倉庫のウラン粉末の濃縮度の変更、再生濃縮ウランを加工するための処理能力の追加、化学処理施設の沈澱ろ過設備、濃縮度混合設備の一部変更、FBR用ブランケット燃料加工施設のうち被覆施設、組立施設等の一部変更を行うものである。

(4) 原子燃料工業(株)熊取製造所における核燃料物質の加工の事業の変更許可について(諮問)

平成4年2月25日付け3安(核規)第1007号をもって内閣総理大臣から諮問を受けた標記の件について、科学技術庁から資料4に基づき説明がなされ、引き続き審議することとした。

注) 本件は施設の合理化を図るため、第2加工棟に成型施設の増設、最大処理能力の変更、ペレット保管ラック等の新設を行い、また、濃縮ウランの貯蔵量増加に対処するためウラン濃縮度を変更し、再生濃縮ウランの加工を行うため、処理する核燃料物質の種類に再生濃縮ウランを追加すること等を行うものである。